

# 『葵上』 上映会 + 野村萬齋氏によるトーク 開催決定!!

公開講座 映像+トーク 2009-2010

渡邊守章の仕事 テクストと身体 —その演出作品を通して

## 能ジャンクション 『葵上』

日時：2009年5月30日(土) 17時開演 &lt;『葵上』上映時間：1時間15分&gt;

会場：京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内) ※映像ホールより変更いたしました。

料金：無料 ※要事前予約

能ジャンクション『葵上』は、本行通りに演じられる能の『葵上』と円地文子訳『源氏物語』「葵の巻」のテキスト、湯浅譲二のミュージック・コンクレート(『葵上』の謡と囃子を電子音でアレンジした楽曲)の出会いによって生み出された作品で、1987年東京・渋谷のパルコ PART-3 で初演されましたが、野村武司(現在の萬齋)の能・狂言以外での初舞台作品として、その<時分の花>の美しさが大評判となりました。

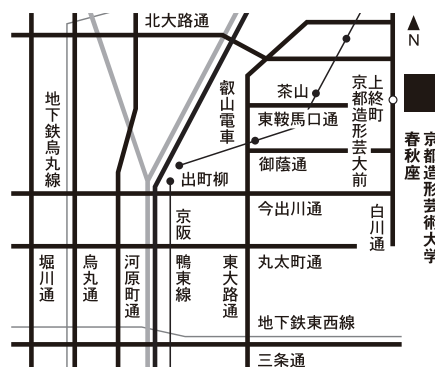
舞台は、事故を起こしたレーサーの青年が、死の直前、年上の女性との禁じられた恋の回想を見る、という設定で展開します。レオタードに緋色の長襦袢をまとった野村武司(萬齋)に、泥眼の面をつけ唐織の装束を身に纏った観世榮夫演じるシテ(六条御息所の怨霊)が、闇から現れ取り憑く。青年は「葵の巻」を抑揚のないモノトーンな口調で語り始め、怨念がその肌に官能の匂いとして散りばめられていく……。

伝統的な舞台作品を構成するテキスト、音楽、身体性などを一度解体し、その仕掛けを露呈させるとともに、舞台上でそれらの新たな関係を遊戯的に再構築した<能ジャンクション>。舞台とその映像についても、刺激的な問題を提示している作品です。

ゲスト：野村萬齋(狂言師、世田谷パブリックシアター芸術監督)

聞き手：渡邊守章(演出家、舞台芸術研究センター所長)

お問合せ・お申込：京都芸術劇場チケットセンター  
京都市左京区北白川瓜生山 2-116  
TEL 075-791-8240 (平日 10 ~ 17 時)  
ホームページ：http://www.k-pac.org/index.html



※駐車場はございません。お車・バイクでのご来場はご遠慮ください。